

## 「ワンヘルスサマーセミナー」が開催されました !!

令和5年9月3日(日)、『くじゅう飯田高原ボスコ』において、福岡県主催による「ワンヘルスサマーセミナー」が開催されました。



セミナーには、**横倉義武**日本医師会名誉会長、**藏内勇夫**アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長、**蓮澤浩明**福岡県医師会会長及び**草場治雄**福岡県獣医師会会長の外、福岡県医師会と福岡県獣医師会から7名の皆さんが参加されました。

また、海外からは、**ジョンソン・チャン**世界獣医師会元会長外、アジア獣医師会連合 (FAVA) の役員の皆さん6名の方々も特別参加していただきました。

### 【**藏内勇夫**会長：開会挨拶】

福岡県医師会の蓮澤会長をはじめ役員の皆さん、福岡県獣医師会の草場会長をはじめ役員の皆さん方、大変お忙しい中に、誠にありがとうございます。

7年前の4月、ここで宿泊をしているときに、九州で大きな地震が発生しました。

この柱が大きく揺れて、柱が落ちるかと思いました。立つことができずに、這いながら外に出て、一番安全なのが、駐車場の車の中でした。

この時、多くの日本人が自分だけ逃げて、動物を置き去りにしていた。だから、私は、今日視察していただいた「九州災害時動物救援センター」を作りました。

今日は、ワンヘルスに関しては、見識の高い方ばかりではありますが、ラファエル会長とマリー専門官に最新の情報を報告をいただいて、大いにワンヘルスを共有していきたいと思います。



今回の講師は、ラファエル・ラガンス世界獣医師会会長とマリー・ジョイ・ゴードンシロ国際連合食糧農業機関（FAO）アジア太平洋地域専門官のお二人です。

#### 【ラファエル世界獣医師会会長】

「**医学と獣医学の対話**」をテーマに、ワンヘルスの観点による医学と獣医学の関係性を再考するため、過去・現在の例から振り返りを行うとともに、セミナー参加者とともにその将来の検討が行われました。



#### 【マリーFAO アジア太平洋地域専門官】

「**ワンヘルスに向けた協調**」をテーマに、世界、地域、国レベルでセクター横断的なコラボレーションが、人・動物・植物・環境の接点における現在および将来の健康課題の影響を緩和するために必要な変化と変革についてどのように推進しているかについて紹介されました。





ジョンソン世界獣医師会元会長



クアザ FAVA 元会長（副会長）



ホ副会長      バンバン事務局長



アチャリアバンコク事務所長



蓮澤会長      コラゾン会計



ティン監事

**【九州災害時動物救護センター】**

災害で行き場を失った犬や猫を預かる九州災害時動物救援センター（大分県九重町）は、全国初の常設ペットシェルターで、2016年の熊本地震では、計約80匹を受け入れました。近年、集中豪雨など災害が多発する一方、新型コロナ禍によりペットの飼育は増えています。施設は、一般社団法人九州動物福祉協会（福岡市）が運営し、ピーク時は最大約40匹を保護。

2023年9月7日

福岡ワンヘルス協議会・事務局